



企業が自社の技術や事業内容をアピールしたフォーラム

県内の産学官と金融機関で構成する「イノベーション・ネットワークあおもり」（代表・三村申吾知事）は19日、「ものづくり産業・パートナーフォーラム」を八戸市の八戸プラザアーバンホールで開いた。県内外の企業や研究機関、行政などの関係者約260人が新事業創出に向け、熱心に情報交換した。（岡田圭逸）

企業間の新たなネットワークを構築し、県内中小企業のものづくりに産業の活性化を推進するの狙い。県内外の約50社が、ブースで展示や事例発表などを行い、自社の技術や事業内容を紹介した。また、首都圏の企業10社と県内企業が商談に臨んだ。

県内の産学官金の主要10機関の円卓会議「産学官金ラウンドテーブル」も開かれた。県産業技術センターの佐藤和雄理事長は、農業・食料産業を成長産業に育成する「6次産業化」について「今後はいかに成功事例をつくっていくかが大切になる」と提言。三村知事は「積極的にチャンスを生かし、チャレンジし、チャレンジしていく気持ちで進めていき

# 新事業創出へ情報交換 ものづくり八戸でフォーラム

## 企業間の連携構築目指す

県三八地域県民局は会場で、県内10社14技術を対象に「三八ものづくり技術大賞」の審査と表彰式を行った。最優秀賞には東北建機工業（八戸市）の「八戸復旧工事の『ニューマッチョクアンローダー』」が選ばれた。このほか受賞した企業は次の通り。

▽優秀賞 UNO（黒石市）、東和電機工業（藤崎町）▽技術奨励賞 東奥電気（十和田市）▽審査員長特別賞 サンライズ・エー・イー（八戸市）▽審査員長奨励賞 中ベソ塗装店（八戸市）

## 県内企業の技術力実感

### 蓬田中生「授業」で理解深める

蓬田村の蓬田中学校（坂本国次校長）で15日、県内企業の技術者や職人が講師を務める「あおもりものづくり企業出前授業」が行われ、全校生徒72人が講話や製作体験などを通して、ものづくりへの理解を深めた。

講師は、黒石市の小型モーターメーカー「UNO」の社長で、優れた技術者として県が認定している「あおもりマイスター」の1人、宇野禎倫さん（51）。同社は特殊コイルを使用し独自の製造技術で高



自作のペットボトル風車でLEDを光らせる蓬田中の生徒ら

後の応用技術のほか、風力発電への活用実験などを紹介した。生徒たちはペットボトルで作った風車にモーターとLED（発光ダイオード）を取り付け、風力発電を体験した。

2年生の中川幸太郎君は「青森県にこんな小さいコイルを作る技術があるのを知らなかった」と話し、風力発電にも興味を持ったよう。「（風車が）うまく回ったので楽しかった」と笑顔だった。

出前授業は、県商工労働部地域産業課が実施。同課では県内の小中学校を対象に、企業見学や体験会なども行っている。（千葉康之）